

## 「アジャリ」のはなし

清水町は、昔から「アジャリ」と言い、そこに住む人たちは「アジャリの衆」と呼ばれていました。アジャリとは「阿闍梨」とも書き、弟子たちを教授し、模範となる徳の高い僧のことを言います。

清水町がアジャリと称されるようになった由来はよく分かりませんが、18世紀末ごろから呼ばれていたようで、現在でもこの地域では町内独特の「阿舍利講」が続いており、毎年12月15日には講仲間が阿舍利大明神を祭る「阿舍利祭り」が行われています。

阿舍利大明神(清水町) 下拡大

